

令和4年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 单元ごとにワークシートの形式を工夫することができた。
- ・ よい気付きをした児童の言動をその場で取り上げて発表させ、気付きのポイントを学ばせる。一人一人の気付きを全員で共有し、繰り返し活動を行い、気付きの質を高めていくことができた。
- ・ 見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどを使って、体験・活動をし、児童の気付きを大切にしていけることができた。
- ・ 保護者のみならず、地域の人、多様な知識をもったゲストティーチャーの人材を活用することができた。

(2) 課題

- ・ 他教科と関連付けて活動を計画し、より気付きを高めていくことが課題である。
- ・ 活動ごとに振り返らせて、こまめに評価していくことが課題である。

2 今年度の分析（観点別）

低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活上必要な習慣は、身に付いている。 ・ 生活上必要な技能には、個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で気付いたことや分かったことを表現することが好きな児童は多い。 ・ 友達の意見を聞いたときに、自分の考えと比べることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童自らが、自分で決めた物事に向かって働きかけを行っていくのは、まだ不十分である。

3 授業改善のポイント（観点別）

低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な気付きの中でも、特に自分自身についての気付きを大切にしていく。 ・ 生活上必要な習慣や技能は、児童の思いや願いを実現する過程において身に付けていく。 ・ 地域の生活環境を生かしたり、児童の生活経験などの実態を考慮したりして学習活動を選定していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの学習活動により、創造的に考えられるようにする。 ・ 気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法により表現し、考えることを通して、気付きを確かなものとしたり、関連付けたりすることができるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が、思いや願いに基づいて、身近な人々、社会及び自然に、自分から接近し、働きかけることにより、満足感や達成感などのやり遂げたという気持ちを強く味わい、自分のよさや可能性に気付くことができるようにする。

